

## 令和5年度 豊橋市特別職報酬等審議会（第1回）会議録

日 時 令和5年11月9日（木）午後2時00分

会 場 東41会議室（東館4階）

委員定数 7人

出席委員 4人

人事課長  ただ今から、令和5年度特別職報酬等審議会を開催いたします。それではまず、資料説明について事務局から説明をお願いいたします。

人事課長補佐  資料1～資料5の説明

庶務課長  資料6説明

財政課長  資料7説明

会長  事務局から資料1から7すべての資料のご説明を頂きました。それでは、資料全般に関して、どこからでも構いませんのでご質問があれば、よろしくお願いたします。

委員  資料1の3・4ページあたりです。市長や議長の報酬が載っていると思いますが、期末手当の支給月数が他の市は、異なっていることもあるかもしれませんが、豊橋市については、市長から議員まで統一されて同じってことですか。変更されることもあるのですか。

人事課長補佐  変更することも可能ですが、豊橋市については、国家公務員の指定職の期末手当支給率に準ずるという考えで変更しています。

- 委員 すべて、国家公務員の指定職と同じということですね。若干、議員さんが少ない気がしたので質問させていただきました。
- 会長 そのほかありますでしょうか。
- 委員 全く話が変わるのですが、最近、このミニ統計豊橋っていうのを手に入れました。これってすごく見やすく、毎年新しくなるとじょうほうひろばでもらってくるのですが、この中に財政のことも書いてありますが、豊橋市の財政って黒字なのかって見たときに、これではわからないです。先ほどの資料の説明で、豊橋市の健全な数字になっていると説明がありましたが、赤字にはなっていないですね。でも大幅な黒字でもない。まあまあ、普通の数字でいっているわけですね。
- 財政課長 そうですね。資料5の5ページの実質収支のとおりです。
- 委員 ミニ統計では、この数字は載っていません。
- 財政課長 統計には、予算が載っていて、歳入と歳出を同額で組んでいます
- 委員 これは、一般市民が見るものなので、もっと赤字だよ、黒字だよってわかりやすくしてほしいです。赤字だったら、税金節約しないといけないとか考えるために。
- 財政課長 赤字になることは基本的にないです。赤字になった場合は非常事態といえます。大幅な歳入欠陥、事故等がない限りないです。
- 委員 市の財政は広報とよはしにも載っていますよね。

- 委員                    この冊子は、重宝していて、他都市に行くときも、持って行って豊橋の説明に使っています。
- 会長                    これだと、財政規模はわかるけど、健全度というのは、わかりづらいですね。よりわかりやすいもの作っていただけるとありがたいですね。
- 委員                    こういうものが、出ているのはとてもいいことだと思います。別に隠すことでもないと思いますので。
- 財政課長                その通りです。
- 会長                    ありがとうございます。この他どうでしょうか。
- 委員                    今年は、報酬どうするのですか。
- 人事課長                他市の状況を踏まえても、据え置きで行きたいと思っています。
- 委員                    でも、ずっと同じ金額ですよ。
- 人事課長補佐            資料で、色々な状況をお示ししましたが、これまでの本市のスタンスとしては、人口類似市、中核市の中でどのくらいの位置にいるかを重視しています。
- 会長                    でも、豊橋の人って中間が好きだから、なにかあると平均だよねって済んでいる気がします。給与体系についても、そのようなことで済んでいるのではないですか。働き方改革については、最低賃金が上がりましたよね。

- 委員 全国平均だと1,004円、愛知県だと1,027円に上がりました。全国で賃金を上げようという意識がありますが、豊橋市はずっと据え置きということですか。
- 委員 働き方でみていくと、市長は、「月に休み2日しかないのもう少しほしいよ」と本人から聞いたことがあります。変な話、こんなに忙しくて休みなしで働いて、この給料では、市長をやりたいという人が出てこなくなってしまうかもしれません。
- 委員 ところで、議長さんと副議長さんで役職数が全然違うので、副議長さんに少しませないでしょうか。業務について相談することでできるのではないのでしょうか。
- 委員 自治連合会にも、会長の仕事が多くあるが、今年から副会長でもいいじゃないかということで話をしています。もう少し会長の仕事を減らせないかと話をしています。市長にしても、休みもなしで働いています。給料の話は抜きにしても、なり手がなくなってしまう。議員さんも一緒ですよ。
- 委員 私もその点は気になっていまして、昨年の会議録をみると同じような話をしていて、近年、行政デジタル化を豊橋市も進めていると思いますけど、そのあたりと連動しながら、リーダーが働き方を示す必要性があると感じています。この資料を見ると、昨年からの減少はほとんどありませんよね、そのあたり実態はどうかかなと、テレワークを使って、在宅勤務をするだとか、市長さんであってもそれは可能だと思いますので、そのあたりはどうか、ぜひお聞きしたいなと思います。
- 人事課長 山本委員がおっしゃられた働き方改革は、社会的な課題となっています。本市でも重々承知しておりまして、役職について

も、両副市長なるべく分散して、という話はしています。ただ、色々な市民の方やそれぞれのステークホルダーや会をもってらっしゃると、どうしても政治家ですので、色々付き合いがあるので、やはりご指摘があるような分散するという難しい点もあります。ただ、市役所組織の中でも、率先して働き方改革、休み方改革だとか、業務の平準化を進めていくという気持はあります

市長のスケジュールを組む時に、市全体で約100の課がありますので、市長へのレクが必要なことが毎日起きていますが、どの程度まで部長で抑えられるか、常々考えながら試行錯誤しているところでございます。

しかし、報酬を上げるとなると、市民感情的にも物価高、首相の給与に関する最近のニュースもありましたけど、まずは報酬からとなると中々ご理解いただけないようなところもあります。それでも社会情勢的に賃金を上げていかなければならない、社会を牽引していかないという側面もあり、大変難しい課題だと思っています。

会長 議長と副議長の役職数のアンバランスというのは、これはどういう形で振り分けているのですか。慣習でやっているのですか。

庶務課長 ご依頼のあるイベントなどは、主催者側からするとやはり議長さんが良いという要望があがってきますので、基本的には議長さんが出席し、議長さんの都合がつかないときは副議長さんが出席するということになります。

会長 他になにかありますか。

委員 議長と副議長の労働時間を把握するのは、難しいと思います

けど、市長と副市長の労働時間というのは市役所で把握できるものですか。

人事課長 定時の管理はしていないので、業務が入った段階でということになります。ある程度裁量はありますが。

委員 時間がわからないと、全部の業務を把握できないと思いで。

人事課長 ただ、自宅で部下に指示を出すこともありますし、全部の労働時間を把握するのは難しいです。

委員 給料を上げる、下げることが問題ではなく、労働力に見合っているかどうかが重要だと思います。

会長 他になにかありませんか。  
今日の説明は、豊橋市の報酬は、従来どおり中位であるので、現行額で据え置くという考えになってはいますが、その点はよろしかったでしょうか。

委員一同 はい。

会長 では、市長、副市長、議長、副議長及び議員の報酬の額については、現行額に据え置くことが妥当ということで決議したいと思います。ただし、働き方については、色々ご意見が出てということで、また、まとめていただければと思います。これで報酬等審議会を終了します。ありがとうございました。

(終了)